



HPはこちら

2022春闘要求を勝ちとろう⑪ 第2回団体交渉

**東日本ユニオンがベア要求をしなかった
苦渋の判断と想いを受け止めるべきだ！**

【東日本ユニオンの主張】

- ★私たちはコロナ禍で社会的使命を遂行し、黒字化と持続的成長に向けて奮闘してきた。しかし、年収が大幅に削られたうえで、生活必需品の相次ぐ値上げなど、生活者として大変厳しい現状に置かれている。
- ★昨年の「昇給係数2」回答に納得はしていない。「夏季手当」と「年末手当」回答にも納得していない。社員の人生・将来設計が崩されたからである。
- ★組合員から「ベースアップを要求するべきだ」との声があることも事実である。
- ★昨年削られた「2係数分」及び「物価上昇分」「生産性向上分」に相当する賃金の底上げとして「ベースアップは必要である」と考える。
- ★ただし、今の厳しい経営状況も労働組合として無視するわけにはいかない。2期連続の赤字決算となった場合に、当社の企業活動などに与える影響も考えなければならない。
- ★黒字化を実現したら、私たちは「2係数分」及び「物価上昇分」「生産性向上分」に相当するベースアップを求めていく！

私たちは今春闘で、あえてベースアップを求めなかった。

**この東日本ユニオンの理性と苦渋の想いを経営側は受け止め
定期昇給と昇給係数4の完全実施を回答するべきだ！**